

駆け付け給油に係る検討項目案を整理すると次のとおりとなると考えられる。

検討項目案	考え方のポイント
○機器、看板等の配置について	インターホン等の呼出装置及び看板を設置する場所は、給油取扱所に来所した顧客が確実に認識できる場所とする必要があると考えられる。
○看板等の表示の内容やガイダンス内容について	顧客に対し確実に必要な情報(注意事項、とるべき行動等)を伝えることが必要であると考えられる。
○店舗等からの給油取扱所の視認性について	店舗等からの視認性の違いにより、必要な設備等が異なることが考えられる。
○店舗等と給油取扱所の距離や従業員が駆けつけるまでの時間について	緊急時の対応時間や顧客を待たせる時間を考慮し、店舗等と給油取扱所との距離を合理的な範囲とする必要があると考えられる。
○緊急時の対応について	無人時(開店中)において発生する事故(いたづら等も含む)に対しても、迅速に対応することが必要であると考えられる。
○無人時(開店時)の防火レベルの考え方について	特に、いたづら等による災害の発生を防止する観点から、ハード及びソフトの対応を組み合わせた対応が必要であると考えられる。
○駆けつけ給油に係る予防規程の記載について	特に、無人時(開店中)及び顧客来店時の安全確保について、明確にしておく必要があると考えられる。(ロック(鍵)の管理等を含む。)